

## 第2章

---

# 住まい・まちづくりを 取り巻く状況

## 第2章

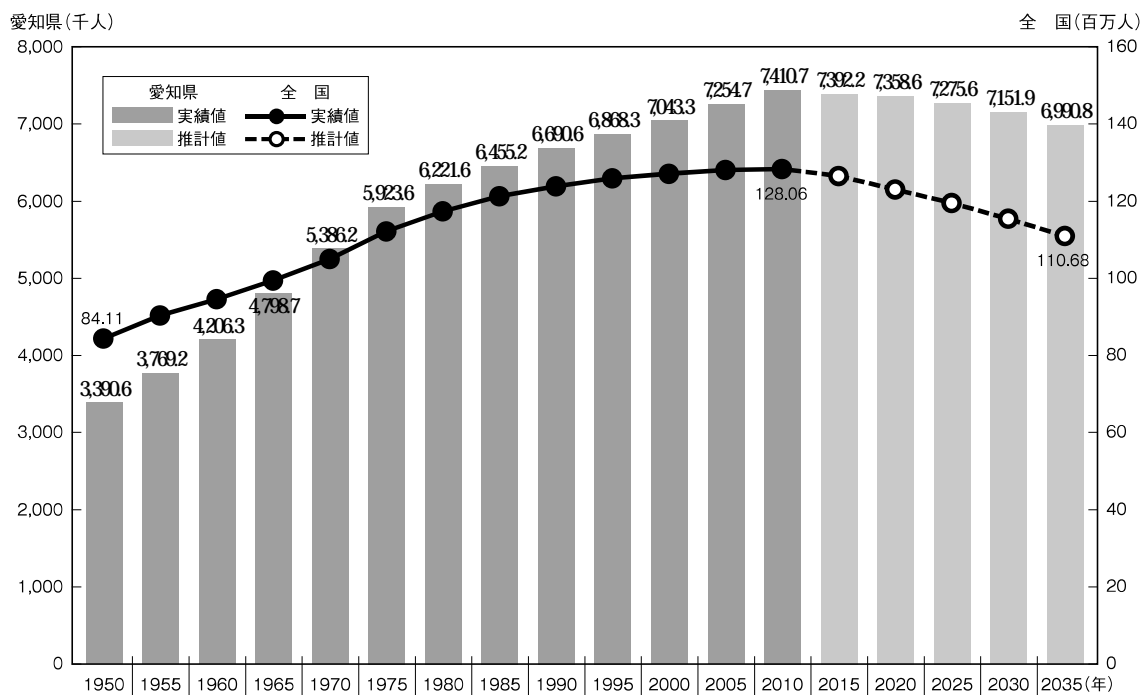
# 住まい・まちづくりを取り巻く状況

### 1 住まい・まちづくりの現状と変化

#### 1-1 人口の推移と今後の見通し

わが国の人口は、2004年（平成16年）をピークに減少に転じています。一方、愛知県の人口は、これまで増加を続けてきましたが、今後は減少傾向に転じると推計されています。

図1 愛知県の人口の推移と今後の見通し



※資料:国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「日本の都道府県別将来推計人口(2007年5月推計)」「日本の将来推計人口(2006年12月推計)」

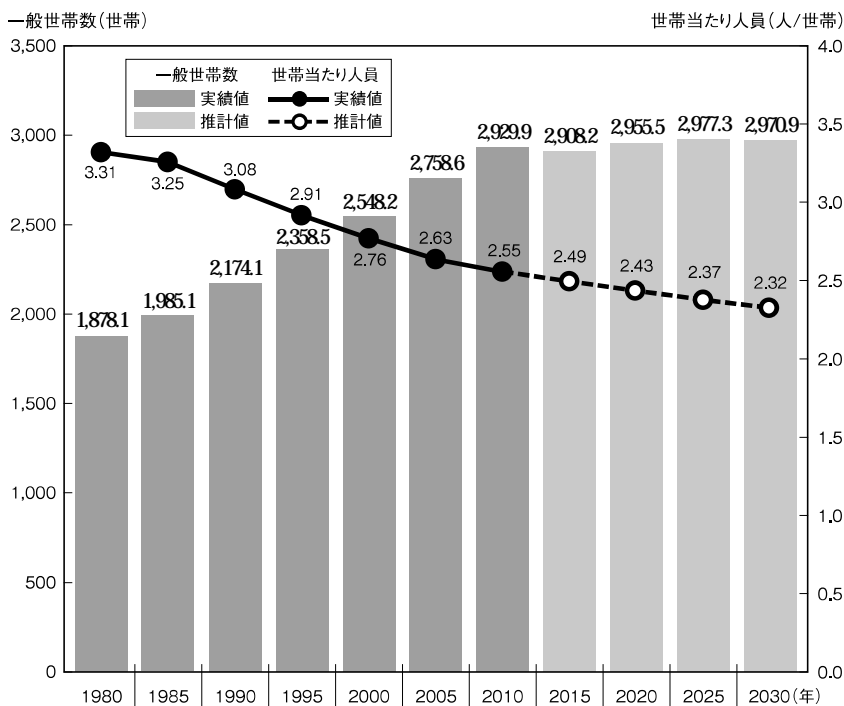
1-2 世帯の推移と世帯類型の見通し

愛知県の一般世帯数は、今後もしばらく増加傾向が続き、2025年（平成37年）をピークに減少に転じると推計されています。また、愛知県の一般世帯1世帯当たり人員は減少傾向にあり、1995年（平成7年）に3.0人を下回り、2015年（平成27年）には2.5人以下になると推計されています。

世帯類型別では、これまで「夫婦と子」の核家族世帯が最も多かったのですが、近年、単独世帯が特に大きく増加し、2010年（平成22年）には最も多い世帯類型となるなど、今後、さらに世帯類型が大きく変化することが見込まれています。

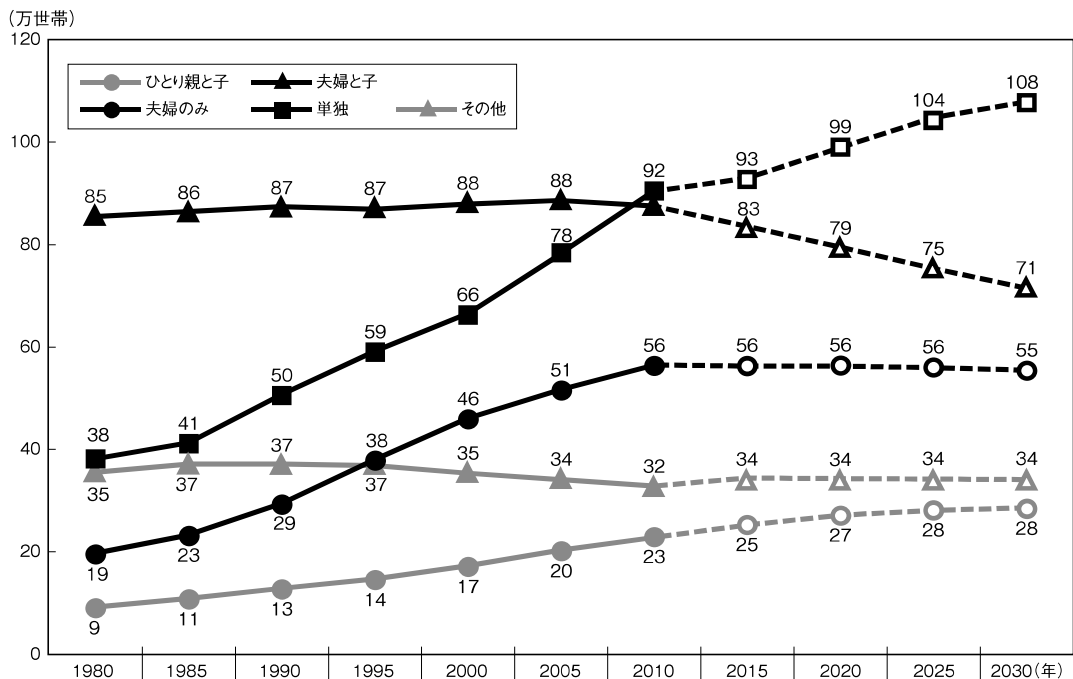
また、今後も高齢化の進行が予測される中、高齢者単身・夫婦のみ世帯の増加が著しく、介護サービス利用者も増加すると予測されます。

図2 愛知県の一般世帯数及び世帯当たり人員の推移と今後の見通し



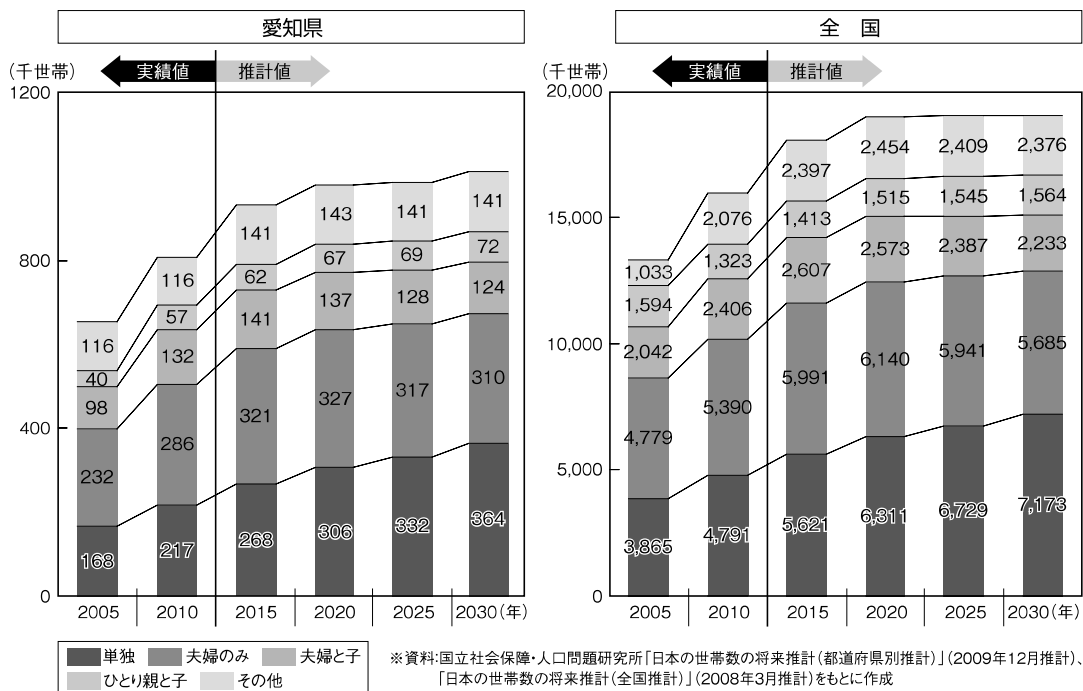
※資料:国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「日本の都道府県別将来推計人口(2007年5月推計)」、  
「日本の世帯数の将来推計(都道府県別推計)(2009年12月推計)」

図3 愛知県の世帯類型別推移と今後の見通し



※資料:国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(都道府県別推計)(2005年8月推計)」

図4 愛知県の高齢世帯数(世帯主が65歳以上の世帯)の推移と今後の見通し



※資料:国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(都道府県別推計)(2009年12月推計)」、「日本の世帯数の将来推計(全国推計)(2008年3月推計)をもとに作成

1-3 少子高齢化の進行

愛知県の人口はこれまでは増加を続けてきましたが、65歳以上の老年人口の増加によるところが大きく、64歳以下の人口については、既に減少傾向にあります。今後も少子高齢化の進行が見込まれ、2035年(平成47年)には、老年人口が全体の約3割を占めると推計されています。

市町村別に高齢者人口比率をみると、三河山間部では、引き続き高齢者の割合が他の地域に比べ高い状態が続きますが、高齢者人口としては都市部での増加が顕著であると予測されています。

図5 愛知県の年齢3区分別人口の推移と今後の見通し

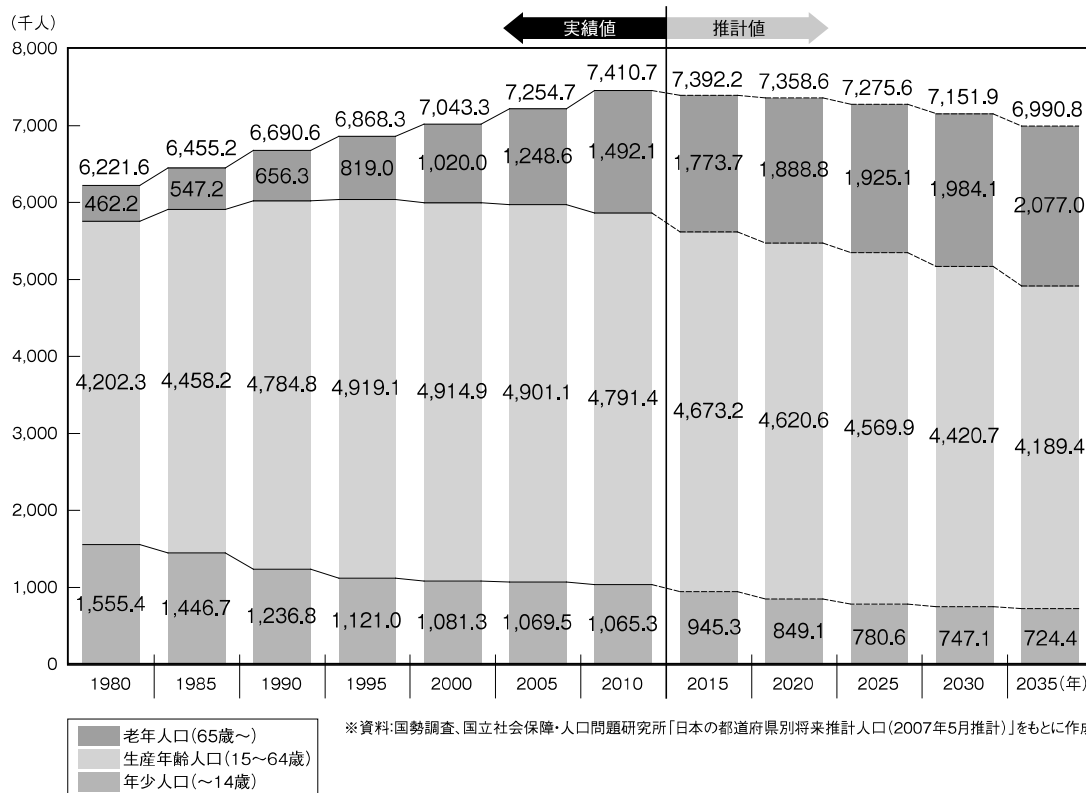
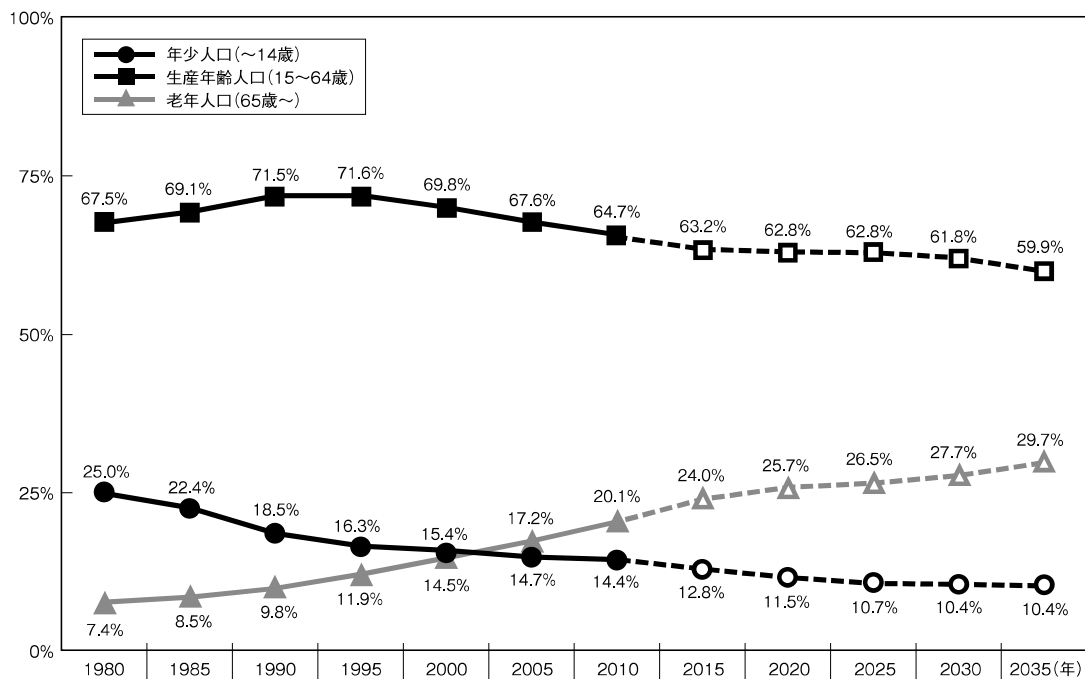
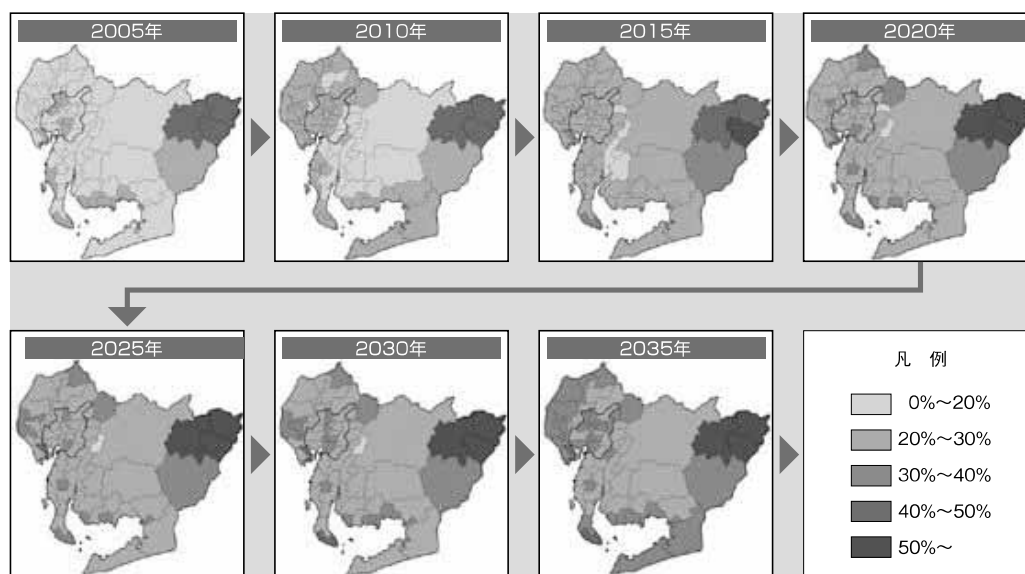


図6 愛知県の年齢3区分別人口比率の推移と今後の見通し



※資料:国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「日本の都道府県別将来推計人口(2007年5月推計)」をもとに作成

図7 愛知県市町村の高齢者人口比率の推移と今後の見通し



※資料:国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口(2008年12月推計)」をもとに作成